

【ねがいましては】

第27号

共和珠算塾 新浜
平成2年8月28日

今年も例のごとく、8月6日～9日、富士西湖にてキャンプが行われました。今回は新浜の教室のみでの初のキャンプであり、また、参加最低学年も思い切って3年生までの参加とし、総数36名で行われました。今まで5教室合同、最低学年4年であり、様々な点で初のケースが多いものとなりました。

子どもたちにとっての一番の問題点はなんといっても4日間家族から離れての生活にあるでしょう。子どもたちはひとつのバンガローという小屋の中で繰り広げられる心のぶつかり合いに、一番とまどいを感じるはずです。これから的人生の荒波の中で必ずやってくる人間関係という大人の世界でもやっかいな問題に直面するわけです。

今回は、寝る時間は個々自由であったわけですが、(ほとんどは自然に眠りについていました)朝起きる時間は各班で相談させ発表させました。私自身、予想外の時間が出されたのには驚きました。最も早い班が6:30分、遅い班が7:30分、平均して7:00時起床ということになり、スタッフ一同ビックリした次第です。が、結果7:00時にスタッフたちが起こしてまわることになりましたが。

男子の、特に3年と5年の部屋からはよく泣き声が聞こえています。集団生活の難しさを肌で感じているようです。

食事の面、掃除の面、遊びの面でいつも争いごとが絶えません。ところがそこは子どもたちの持っている天性の明るさで、さっきまで泣いていたと思ったら、もうキャッキャッ遊んでいます。この立ち直りの速さは、我々が一番見習わなければならないことだと痛感しました。

集団の中でうまく人づきあいの出来る子。これはひと昔前に、多人数の兄弟、大家族の中で繰り広げられてきた生活を思い出させます。その集団の中でのルールを、このキャンプからほんの少し味わってもらえたと思います。

今回のキャンプ生活の中であったことは、将来学校や社会の中で人とうまくやっていくための必要な練習の機会になったことだと思います。

その中から子どもたちが自主的に解決策を見出していくことを願っています。

来年はもうスタッフの中から1週間から10日間やれという声が上がっています。

今回のキャンプ中にスタッフたちの決めたスタッフ賞(特に思いやりや努力の感じられた子に贈られる賞)を次の通り発表します。

*スタッフ賞・・・矢作 雅己・スタッフとともによく手伝った。

〃 ・・・柳田 俊介・ひとりでもよく一生懸命に食器類を洗っていた。

*がんばったで賞・山本 知子・ぜんそく発作にもめげずにがんばった。

*大笑い賞・・・高木 教之・水風船がおでこにさく裂したにもかかわらず笑っていた。

*根性賞・・・・白石 綾子・堀内 純絵・胆だめしの時、こわがらないでよく歩いた。

◆9月の予定

- | | |
|---------|--|
| 1日 (土) | シール交換(むりえをしておこう) 時間割がもとにもどります |
| 13日 (木) | 219回検定試験申し込み締め切り |
| 29日 (土) | 4～10級検定・共和珠算塾 |
| 30日 (日) | 3級以上検定試験・中央商業高校
持ち物・いつもの道具・受験票・ぶんちん
集 合・8時15分 教室前集合 11時 会場終了予定 |

◆今回の検定試験は南新浜小学校が30日(日)運動会に当たっているようですので3級以上受験の生徒は気をつけてください。